

【蒲郡市】 1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」の内容等には、子供たちの資質・能力を育成することが求められています。

「個別最適な学び」の実現のため、一人ひとりの児童生徒の実態に応じた学習計画に基づき、児童生徒が1人1台端末を通じて、場所や個人の資質、環境にとらわれず、個々の理解度や学習ペースに合わせた学びを目指します。「協働的な学び」の実現のため、1人1台端末を通じて他の児童生徒や地域と交流することにより、児童生徒が他者の多様な考えに触れ、自己の考えを広げ高める学びを目指します。

また、蒲郡市では、蒲郡市教育振興計画の「ともに学び、ともに生きる～多様な出会いを大切に～」を基本理念に、7つの学びのあり方（教育目標）の実現のため、ICT教育を推進します。

2 GIGA第1期の総括

【現状と課題】

- ・1人1台端末を活用できる授業を計画的に推進していくために、ICT支援員を活用し各学校が必要とする支援を実施しています。
- ・教員への調査やモデル校での児童生徒の調査から、プログラミング力は高い一方、情報活用能力における情報モラルと情報活用の向上が課題となっています。
- ・タブレット端末やインターネット等を利用して、児童生徒が必要な情報を収集したり、クラウドソフトを利用して学習の成果をまとめたり、表現したりすることができています。
- ・教員に対して、電子会議システムを利用して、児童生徒が必要な人とオンラインでつながり、学習を進めることができる環境を整備しており、その必要性の認識や有効的に活用する方法を広めていく必要があります。
- ・教員に対して、タブレット端末を活かした学習を進めるために必要な研修を実施していますが、研修時間の確保が課題となっています。
- ・インターネット環境の整備により、児童生徒はタブレット端末を利用して調べ学習を行うことができています。今後、授業でのさらなる活用に向け必要なネットワーク速度の確保が課題となっています。

【施策の方針】

①情報活用能力の育成

- ・児童生徒が、ICTを活用し、情報の収集、整理、比較、発信、共有ができるよう、様々な教科において、情報活用能力の育成を図ります。
- ・発達段階に即して情報活用能力が系統的に育成されるよう、小中学校、高等学校を見通したプログラミング教育が展開できるように学校を支援します。
- ・児童生徒が、興味・関心を持ちながら、情報モラル、情報セキュリティを学ぶことができるよう、ICT支援員を活用した教材の導入、指導方法の研究、実践を進めます。

②ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現

- ・ICT支援員を活用して、児童生徒個々の学びの目的に沿った追究ができる授業やかかわり合いによって追究が深まる授業のための支援をします。
- ・クラウドソフト等を活用して、仲間や地域内外の人、事業所等とつながる学習を支援します。

③児童生徒の学びや教員を支える学習環境・ICT教育環境の充実

- ・1人1台端末によって、教師と子供がつながり、子供と子供同士がつながることで児童生徒の学びを支援します。
- ・適切な資料提示や学習状況のモニタリングを通して、一人一人の状況に応じた学びを支援し保障します。
- ・授業支援ソフトウェアやウェブ会議システムを活用したオンライン学習により学校と学校外をつなぎ、様々な事情により教室で学ぶことができない児童生徒に対しても、学びを止めない学習環境を整備します。
- ・1人1台端末に対応したデジタル教科書・教材等の導入など、国や最新技術の動向を踏まえながら、ICT環境の充実に努めます。
- ・教員を対象としたICT活用研修において、研修内容や支援の方法を工夫し、ICT活用に向けた教員の技量の向上と意識改革を図ります。
- ・教員研修や会議などの運営方法について、オンライン形式による開催を含め、見直しを検討します。